

CISSP とは？

合格への完全ガイド

8 ドメイン・5 年経験の国際最高峰資格
難易度・勉強法・年収への影響を最新データで徹底解説



自分に必要か判断したいでしゅ

段階的な攻略法がある





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● CISSP とは？ ISC2 が認定する国際資格



正式名称と認定団体

ISC2（1989年設立）が認定する世界最高峰のセキュリティ資格



グローバルな通用性

世界 180 カ国以上で通用する国際認定基準に完全準拠



権威の源泉

30年以上の歴史と政府・軍の採用実績が国際的信頼を支える

● 世界最高峰と呼ばれる 3つの根拠



8 ドメインの網羅性

技術からガバナンスまで横断カバー。経営層と話せる専門家を育成する設計



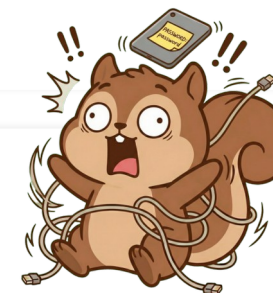
5 年実務経験の厳格要件

試験合格だけでは認定されない。実務裏付きの専門家証明として差別化



16 万人超のネットワーク

情報共有・キャリア形成に実際に役立つ全世界のプロネットワーク



3要素が揃って初めてセキュリティリーダーの証明として世界で通用する



● 試験概要【費用・形式・受験条件】



受験料・出題形式

749 ドル。英語 CAT100 ～ 150 問／日本語 250 問・6 時間



合格ライン・再受験

700/1000 点以上。不合格後 30 日待機・年 3 回まで



受験の鉄則

一発合格が最もコスト効率が高い。十分な準備期間が不可欠

● 経験不足でも挑戦できるアソシエイト制度



アソシエイト制度

試験合格後 6 年以内に経験要件を充足すれば正式認定



CC 経由の段階ルート

CC 取得→実務経験→ CISSP。CC で経験 1 年分が免除される



救済制度

経験が足りなくても今すぐ動き始めることがキャリアの差になる

● 8 ドメイン前半：基盤・設計領域



D1 リスク管理 16%

最大配点 16%。ガバナンス・BCP・コンプライアンスを経営視点で問う



D3 アーキテクチャ 13%

ゼロトラスト・暗号技術・物理セキュリティの設計原則



前半の鉄則

D1 は最大配点 16%。マネジメント視点の習得が合格の分水嶺

● 8 ドメイン後半：運用・開発領域



D5 IAM 13%

ゼロトラスト実装の核心。PAM・SSO・多要素認証の統制力



D7 セキュリティ運用 13%

SOC・CSIRT 直結。インシデント対応・DR・ログ管理



後半の特徴

実務経験者が馴染みやすい領域だが全8ドメイン均等な学習が必須

● 合格率 20 ~ 25% ・ 不合格になる 3 つの落とし穴



技術偏重・リスク視点不足

技術偏重は禁物。組織全体のリスク最小化視点で回答する訓練が不可欠



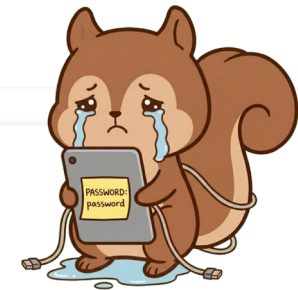
英語ベースの思考様式

日本語版でも原文は英語。翻訳特有の曖昧さを読み解く訓練が不可欠



暗記頼りで概念理解不足

「なぜそうすべきか」を問う試験。用語の暗記だけでは太刀打ちできない



Think like a manager の視点が合格の最短経路



● 主要セキュリティ資格との比較

CISSP

国際通用度 最高水準

- ・ 受験料 749 ドル ・ 5 年実務経験必須
- ・ 8 ドメイン横断の超広範な試験範囲
- ・ 外資系 ・ グローバル企業で採用条件に
- ・ 維持費年 \$135 ・ 3 年 120CPE

VS

情報処理安全確保支援士

取得コスト 圧倒的優位

- ・ 受験料 5,700 円 ・ 実務経験不要
- ・ 技術系セキュリティに特化した試験範囲
- ・ 国内企業で広く認知される定番資格
- ・ 維持費年 1.4 万円 (講習必須)

判断の軸



グローバル展開なら CISSP、国内重視なら登録セキスペから

● 独学合格の4ステップロードマップ

1

全体像の把握

1ヶ月目：公式テキスト（Sybex）を通読し8ドメイン全体を俯瞰する

2

ドメイン別深掘り

2～3ヶ月目：弱点ドメインを特定し重点的に理解を深める

3

問題集で実戦演習

4～5ヶ月目：マネージャー視点での回答を問題集で徹底的に習慣化

4

模擬試験と弱点補強

直前1ヶ月：時間配分を確認し弱点の最終補強を完了する

準備が全てだ。焦りより準備を



● CISSP 保持者の年収レンジとキャリアパス

国内年収レンジ



セキュリティエンジニア

600 ~ 900 万円 (3 ~ 5 年経験)



セキュリティコンサル

800 ~ 1,300 万円



CISO・セキュリティ部門長

1,200 ~ 2,000 万円超

活きる職種・キャリア



CISO・セキュリティ統括

8ドメインの知識が直接活きる最上位ポジション



セキュリティコンサルタント

上流 PMO・ガバナンス案件で特に高評価



フリーランス独立

高単価案件・リモート中心の柔軟な働き方

グローバル平均年収 約 1,950 万円

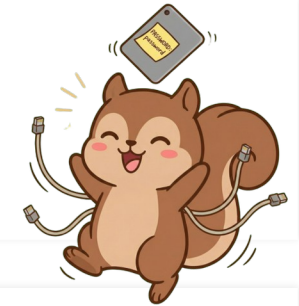


● 資格維持 CPE と上位資格（Concentrations）



CPE ・ 年会費

3 年 120CPE ・ 年 \$135 。 3 年維持費合計 \$405



上位資格 3 種

ISSAP / ISSEP / ISSMP の 3 種。 CISSP 認定者のみ受験可



合格後の展望

CISSP は終点でなく出発点。 継続学習が資格の価値を維持・向上させる

● まとめ



CISSP は ISC2 が認定する 8 ドメイン横断の国際最高峰資格。全世界 16 万人超の認定者を誇る



試験は 749 ドル・5 年実務経験必須。アソシエイト制度で経験不足でも先に合格できる



国内 CISSP 保持者の年収は 800 万～1,500 万円以上。セキュリティ人材不足で需要は拡大中

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

